

長崎県総合水産試験場 平成25年度試験研究概要

課題担当部科	課題名	平成25年度計画概要	研究種別	期間
漁業資源部 海洋資源科	資源評価調査 (TAC)	<ul style="list-style-type: none"> ・重要資源 (アジ・サバ・イワシ類、マダイ、ヒラメ、ブリ、アサリ、イナダ) の各種調査 (生物統計調査、漁獲統計調査、産卵調査、新規加入量調査など) を行う。 ・調査結果は、平成23年現在の資源評価の基礎資料とする。 	受託研究	H12-
漁業資源部 海洋資源科	日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査委託 (307)	<ul style="list-style-type: none"> ・クロマグロ幼魚 (ヨコワ) やカジキ類の漁獲統計調査、生物統計調査を行う。 また、得られた資料をもとに対馬地区のヨコワ漁況予報を発表する。 ・さらに、GPSデータロガーを用いてヨコワ漁獲状況調査を行う。 	受託研究	H4-
漁業資源部 海洋資源科	地域型資源管理予測技術開発試験	<ul style="list-style-type: none"> ・県北海域カタクチイワシ、壱岐対馬ケンサキイカの資源評価手法開発のための基礎知見を得るため、漁獲統計調査、生物統計調査等を行う。 	経常研究	H9-
漁業資源部 海洋資源科	漁海況情報提供強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の漁海況情報、九州北西海域の水温情報、鳥取県から長崎県にかけてのケンサキイカ漁獲状況などを発信する。 	経常研究	H21-25
漁業資源部 海洋資源科	資源管理・漁業所得補償対策 (資源回復計画作成推進事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・対馬周辺海域におけるアマダイ資源の評価を行うため、漁獲実態調査や生物統計調査等を行う。 ・対馬周辺海域におけるアマダイ資源回復計画の検討を行う。 	行政要望	H23- (H18-22)
漁業資源部 海洋資源科	大型クラゲ出現調査及び情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各普及センターからの大型クラゲ出現状況報告を取りまとめ、関係機関へ発信する。 ・小型飛行機による大型クラゲの目視調査を行う。 	受託研究	H20-
漁業資源部 海洋資源科	沿岸漁業開発調査	<ul style="list-style-type: none"> ・新規や見直しを検討している2ヶ所の定置網漁場 (野母崎、鹿見) について、海底地形や流況調査に基づく診断、助言を行う。 ・昭和60年度から平成24年度までに得られた海底地形図をまとめた地域版海底地形図集を刊行する。 	経常研究	S61-
漁業資源部 栽培漁業科	資源を育む長崎の海づくり事業	<p>トラフグ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①有明海50万尾放流 (内25万尾標識) ②放流効果の推定 <ul style="list-style-type: none"> ・有明海当歳魚 ・外海域1~8歳魚 (広域連携調査により効果を推定) ・有明海2~8歳魚 	行政要望	H22-25

長崎県総合水産試験場 平成25年度試験研究概要

課題担当部科	課題名	平成25年度計画概要	研究種別	期間
漁業資源部 栽培漁業科	ヒラメ資源回復共同放流推進事業	ヒラメ資源の回復を図るために、効果的な放流手法を確立するとともに、関係県との共同放流に向けた基礎知見となる放流効果調査を実施する。 ①標識放流 県内各栽培漁業推進協議会により合計500千尾、内250千尾の標識放流。 (鰭切除+ALC標識で区別) ②放流効果調査 県内主要市場において放流効果調査を行い、放流群別の混入率や回収率等の推定を行う。	経常研究	H23-27 (H20-22)
漁業資源部 栽培漁業科	放流種苗の評価基準づくり事業	放流効果をより高めるため、活力等の種苗の質を評価する手法を確立するとともに、放流効果への影響を明らかにし、放流種苗の評価基準を作成する。 ①放流種苗の評価手法の検討 ②放流効果への影響試験	経常研究	H22-26
漁業資源部 栽培漁業科	クエ資源管理技術開発事業	漁獲実態や資源生態の基礎的な知見を明らかにし、資源的確な評価を行うとともに効果的な放流手法の開発を併せて行い、適切な資源管理手法の検討を行う。 ①漁獲実態調査 ②資源生態調査(標識放流による移動回遊) ③標識放流試験 ④放流追跡調査 ⑤市場調査	経常研究	H23-27
漁業資源部 栽培漁業科	有明海漁業振興技術開発事業	(栽培漁業科) 有明海における水産資源の回復等による漁業の振興を図るため、クルマエビ、ガザミ、トラフグ等漁業生産上重要な資源について、放流技術の開発に取り組む。 ①標識放流 ②放流効果の推定 等	行政要望	H24-26 (H21-23)
種苗量産技術開発センター 介藻類科	有明海漁業振興技術開発事業	タイラギの人工種苗生産による種苗の安定確保の技術開発、タイラギの天然稚貝確保の漁場改良技術開発(漁協への支援、現場調査)、干潟利用を主体とする養殖技術開発	行政要望	H24-26
種苗量産技術開発センター 魚類科	良質な種苗の生産技術開発研究事業	・クエについては形態異常の軽減化試験及びウイルス防除対策に取り組む。 ・クロマグロについては、初期生残率の向上を目指した飼育環境試験を行う。 ・カワハギについては、天然親魚および養成親魚から採卵を行い、飼育試験を行うことで高成長、高生残率等の生産群を選抜する。さらに早期採卵についても検討する。	経常研究	H23-27
種苗量産技術開発センター 魚類科	養殖魚類の育種技術開発研究事業	・人工種苗の性コントロール技術の開発でトラフグについては優良雄(早熟系)として実績がある精巢細胞をインジェクションして、全雄化技術開発に取り組む。 ・トラフグ・ハタ類について優良品種作出のための技術開発を行う。 ・ホシガレイはこれまでの定説であった雄ヘテロ性染色体がXY型から、雌ヘテロWZ型であることが判ったことから、超雌(WW)の生物学特性を確認する	経常研究	H23-27

長崎県総合水産試験場 平成25年度試験研究概要

課題担当部科	課題名	平成25年度計画概要	研究種別	期間
種苗量産技術開発センター 魚類科	天然資源に依存しない持続的な養殖生産技術の開発 「クロマグロの種苗量産に向けた飼養技術の高度化」	・クロマグロ健全種苗の生産に向けた飼餌料の開発と種苗生産期における仔稚魚の減耗防除技術の開発に取り組む。 魚類科担当部分：「仔稚魚の減耗防除技術の開発」で、①仔魚期から発生する共食い防除技術の開発、②種苗生産過程に見られる衝突死防除対策の2課題に取り組む。	受託研究	H24-28
種苗量産技術開発センター 介藻類科	養殖貝類の優良高品質化を目指した基盤技術の開発	マガキ等二枚貝浮遊幼生の効率的な生産を目的として、安定飼育技術および高密度飼育技術を開発する。高生残マガキを作出するための親貝選抜方法を検討する。照りが良い真珠を生産するための養殖方法等を検討する。	経常研究	H25-29
種苗量産技術開発センター 介藻類科	貝類の新養殖技術開発	シングルシード夏場出荷に対応するため、夏期養殖における生産物の特性（成長、生残、実入り、成熟の推移等）を検討する。 タイラギ小型稚貝の中間育成方法などの技術開発をさらに進める。	経常研究	H23-27
種苗量産技術開発センター 介藻類科 環境養殖技術開発センター 漁場環境科	諫早湾貝類の漁場有効利用技術開発	アサリ・マガキ・タイラギについて、生産安定を図るため干潟や沖合い漁場を有効に機能させるための技術開発を行う。 1. アサリ漁場の底質改善手法 2. アサリの生残、成長、身入り状況調査 3. タイラギの生息調査とともに、新規覆砂漁場の効果等を検討予定	経常研究	H24-28
種苗量産技術開発センター 介藻類科 (栽培漁業科、加工科と連携)	環境変化に対応した藻類増養殖基盤技術開発	・小型海藻を用いた藻場造成の効率化およびウニの密度管理と藻場の維持・拡大（栽培漁業科との連携）、小型海藻の利用によるウニの身入り率の改善等（加工科との連携）を検討する。 ・藻場モニタリング調査（H13～：野母崎）：藻場の変化実態を継続観察。 ・川養殖の安定生産を目的に、漁場調査および適正管理指導を実施（県南普及指導センターとの連携） ・ヒジキ養殖種苗の供給を目的に、1)陸上水槽での量産化、2)大村湾等における育苗試験、3)ヒジキ群落の適正管理（適正な種苗採取量（範囲）と群落密度維持）手法の検討	経常研究	H25-29
種苗量産技術開発センター 介藻類科	藻場回復技術実証推進事業	・「磯焼け対策モデル地区」として、西海市大島地区（H23～27）と小値賀地区（H25～27）において、1ha規模の春藻場造成を実施 ・県内各地の磯焼け対策の取り組みに係る調査・指導等を実施	行政要望	H25-27
水産加工開発指導センター 加工科	水産物供給体制づくり技術育成事業	長崎県の有する独自技術、長崎らしさ、食べやすさ等をコンセプトとして、 ①加工に関する指導（オープンラボによる支援、水試特許技術等の普及・指導） ②魚介類の品質に関する指導（輸送技術・品質向上に関する開発・指導） ③研究成果の普及（研修会・巡回指導・情報誌）	経常研究	H24-28

長崎県総合水産試験場 平成25年度試験研究概要

課題担当部科	課題名	平成25年度計画概要	研究種別	期間
水産加工開発指導センター加工科	水産加工原料確保のための新原料開発	低未利用魚を新たな加工原料として利用する方法を開発する。 ①既存塩干品の品質向上法の開発（キダイのタンパク変性、マサバ色調変化の解析） ②塩干品原料の開発（シイラ、サンマ、ハガツオの離水率の解析） ③クエン酸塩を用いた新しい干物の製造法を開発 ④干物の保存試験を実施	経常研究	H21-25
水産加工開発指導センター加工科 環境養殖技術開発センター養殖技術科	海外輸出に向けた活魚輸送技術の開発	本県水産物の輸出拡大のため、海水浄化システムを利用した活魚輸送水槽を開発し、海外へ向けた輸送試験を行う。 ①長時間輸送に伴う魚の生理反応の把握（アンモニア濃度の測定） ②活魚輸送試験の実施 ③海水の浄化効率向上のための技術開発	戦略プロジェクト	H24-26
水産加工開発指導センター加工科 環境養殖技術開発センター養殖技術科	養殖魚の血合肉褐変防止技術（競争力ある養殖魚づくり推進事業）	養殖ブリの血合筋の褐変防止技術を開発する。 ①メト化抑制作用の解析 ②脂肪含量の測定 ③効果的なビタミン投与法の検討	行政要望	H22-27
水産加工開発指導センター加工科 環境養殖技術開発センター養殖技術科	養殖マグロ品質管理事業（養殖業収益性向上緊急対策事業）	養殖クロマグロの高品質化を目指した品質管理方法を検討する。 ①脂肪含量の測定（ソックスレー法） ②肉質とpHとの関係を解析 ③脂肪含量の簡易測定法を検討	行政要望	H23-26
環境養殖技術開発センター漁場環境科	有害赤潮プランクトン等総合対策事業 ※旧：有害赤潮プランクトン等監視調査事業（国庫補助：食の安全・安心確保交付金事業） （国庫委託：赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業）	1. 現場調査 橘湾・有明海（6回）、諫早湾（6回）、佐世保湾（8回）、伊万里湾及び大村湾、薄香・古江湾の調査 2. 赤潮動態予測手法の検討（シャトネラ・カレニア） 3. 有効な防除方法の検討（シャトネラ・カレニア） 4. 貝毒発生監視調査（国十県） 浅茅湾・三浦湾、橘湾での貝毒とプランクトン調査 5. その他 ・赤潮情報の収集と伝達 ・現地研修会の開催	経常研究 受託研究	H24-28 (H19-23)
環境養殖技術開発センター漁場環境科	有明海特産魚介類生息環境調査	①諫早湾内の赤潮や貧酸素水塊の実態調査 ②ケアシエル土嚢のアサリ稚貝の集積等の効果試験	行政要望	H24-26
環境養殖技術開発センター漁場環境科	内湾漁場の有効活用技術開発	①小長井地先貧酸素関連の漁場環境調査 ②諫早湾におけるプランクトンの分布調査 ③橘湾戸石地区のカキ漁場の餌量調査 ④対馬のマグロ養殖場における春季へい死原因解明のための調査 ⑤橘湾の貧酸素調査	経常研究	H22-26

長崎県総合水産試験場 平成25年度試験研究概要

課題担当部科	課題名	平成25年度計画概要	研究種別	期間
環境養殖技術開発センター 漁場環境科	漁場環境保全対策費	主に5月中旬から下旬にかけて発生する粘質状浮遊物の分布状況把握、情報伝達を行なう。 有明海で浮遊物が発生した場合、浮遊物発生状況調査を計画。	行政要望	
環境養殖技術開発センター 養殖技術科	戦略的養殖業を推進する技術の開発	1. 新魚種養殖技術開発試験 (海面：カワハギ等、陸上：クエ等) ・カワハギ飼育試験 (陸上・海上 委託試験含む) ・クエ飼育試験(陸上養殖含めて) 2. 肉質試験 (餌料、給餌頻度による脂質の変化) ・ブリ脂質含量の分析、官能検査	経常研究	H24-28
環境養殖技術開発センター 養殖技術科	魚病対策技術開発	H25年度は24年度の項目を継続して実施予定 1. ウイルス性疾病対策 ①ホシガレイのVNNに関する基礎研究 ②クエのVNN対策研究 2. 細菌性疾病対策 ヒラメの連鎖球菌、ブリのノカルジア等 3. 寄生虫疾病対策 クロマグロ住血吸虫生活環等 4. 診断・指導及び研修等 魚病診断・指導 各種講習会	経常研究	H24-28
環境養殖技術開発センター 養殖技術科	競争力ある養殖魚づくり推進事業	1. 無・低魚粉配合飼料開発 ・マダイは引続き添加物の効果や抗病性について試験 ・ブリは魚粉・魚油削減飼料で品質の変化を試験 2. 地元からの提案による県特産品(みかん)等の添加飼料を用いた実証試験を支援	行政要望	H22-27
環境養殖技術開発センター 養殖技術科	安全・安心養殖魚づくり推進事業	・コイヘルペスウイルス症対策	行政要望	H18-
環境養殖技術開発センター 養殖技術科	陸上養殖振興プロジェクト推進事業(水産振興課令達予算)	新技術(電気分解ろ過)及び自然エネルギー(地中熱)等を利用した低コスト陸上養殖システムを開発 25年度は以下の内容を実施予定 ・クエ飼育試験により成長、生残、養殖特性等比較 ・アンモニア等を測定し浄化能力を評価。電力使用を比較し生産コストを評価 ・装置の自動制御を開発	行政要望	H24-25
企画開発推進室	「開かれた総合水試」いきいき情報発信事業	・移動総合水産試験場<出前水試>を開催。 ・他研究機関等から各種情報を収集するとともに、収集した情報や研究情報等をホームページ等により発信。 ・西海区水産研究所、長崎大学環東シナ海環境資源研究センターとの三機関合同で「ながさき水産科学フェア」を開催。		H24-28 (H19-23)